

年頭のごあいさつ

鞍手町長 徳島真次

明けましておめでとうございます。
町民の皆様におかれましては、平成29年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

平成25年1月、私が町政を預かっていたから節目の年を迎えることとなりました。この4年間、町長としての重責を痛感しつつも、使命感に燃え日々邁進してまいりました。町民の皆様には、町政全般にわたりご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、いくつもの大きな自然災害が日本を襲いました。4月には熊本県を震源とする最大震度7の大地震が発生し、8月には

大型の台風10号が東北地方や北海道を襲い、記録的な豪雨をもたらしたほか、10月には鳥取県中部を震源とする最大震度6弱の地震が発生するなど、多数の犠牲者と多額の被害をもたらしました。

幸いにも本町には、大きな災害の発生はありませんでしたが、いつ起こるか分からない自然災害に対し、今後も危機管理体制の充実・強化に努め、災害に強い安全・安心なまちづくりに向けて引き続き取り組んでいく必要があります。

本町におきましては、昨年3月に「第5次鞍手町総合計画」を策定し、今後

9年間のまちづくりの羅針盤として、将来像に「新たな力で躍動するまちくらすて」、キャッチフレーズに「未来につなぐ つながる 希望の芽」を掲げ、次の世代が夢と希望を抱けるようなまちづくりを進めてまいります。

その一つとして、平成29年度からは地方独立行政法人くらすて病院の移転建替えに向け本格的に取り組んでまいります。くらすて病院は、本町にとどまらず周辺自治体を含めた地域医療の核として安全・安心の医療サービスを提供していく大変重要な施設であるとともに、まちづくりの核となる重要な施設でありますので、本町の発展に向けて

謹んで新年のご祝詞を申し上げます

平成29年元旦

大きな期待が寄せられます。さらに、このくらすて病院の移転建替え整備とともに町内の主要道路の整備も進めてまいります。平成27年3月に開通した北九鞍手夢大橋への暫定的な接続道路は、福岡県の事業として平成29年度から直進性のある本来の計画道路へと改修されることとなっております。また、鞍手インターチェンジへのアクセス道路の延伸も着実に進められております。

このように、輝かしい未来に向けて本町を取り巻く環境は今後も大きく変化してまいります。

本年も、町民の皆様と共に知恵と力を出し合いながら、「鞍手町に住んでよ

かった。これからも住み続けたい。」と実感できるまちづくりに邁進してまいりますので、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。結びに、新しい年が町民の皆様と鞍手町のさらなる飛躍の年となりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



酉